

平成28年度 栗ガ丘小学校グランドデザイン



小布施町民憲章

- 1 健康で明るい家庭をつくりましょう
- 2 美しい自然を大切にしましょう
- 3 教養を高め、文化と伝統を育てましょう
- 4 特色と活力のある産業を育てましょう
- 5 親切をつくし、心と心をかよわせましょう

— 小布施町が目指す子ども像 —

グローバル化が進む知識基盤社会の時代に、知(確かな学力)・徳(豊かな心)・体(たくましく生きるための健康と体力)が調和よく備わり、ふるさと小布施を愛する子ども
～心から愛せる未来の小布施町を創造していけるシチズンシップを備えた子ども～

— 学校経営方針 —

『一人も見捨てない教育～千手千眼』
一人一人の力を信じ、あらゆる角度からの理解と様々な手だて(千手千眼)を講じ、伸びゆく子どもの成長を扶ける学校づくりを進めます。そのために地域と共に学校づくりを進めていきます。

— 学校教育目標 —

- たくましい体と豊かな心を持ち、自ら学び伸びゆく子ども
- めあてを持って考え、粘り強く学ぶ子ども
 - 互いに支えあう思いやりのある子ども
 - 郷土を愛し、自然に親しみ、美しさに感動する子ども
 - 心身を鍛え、仕事に打ち込む子ども

— 幼保小中一貫教育の推進 —

3歳の入り口から15歳の出口まで一貫した教育課程で子どもたちの成長を支えます。また幼保・中学校との連携交流活動、地域と連携した活動をより充実させていきます。

— 平成28年度の教育課題 —

教育課題：『学び合い』を中心としたアクティブ・ラーニングの充実
学校生活の大半を占める授業で、児童が主体的協働的に学びあう授業をしていきます。

『学び合い』=「子どもは一人一人できる力があるという考え方」「子どもは一人一人理解の仕方が違うので、教師は可能な限りわかる環境をつくるという考え方」「学校は学力をつけながら他者と好ましい人間関係を結ぶ力をつけるという考え方」を理念に展開する授業のこと。



重点2 体づくり

正しい体の使い方を身につけるプログラムを継続的にを行い、体力・健康づくりの習慣化を図ります。

《今年度の重点方策》

- 体幹トレーニングやストレッチ等を日課に位置づけ、運動の日常化を図ります。
- ①栗小体操(清掃終了後2分間)
- ②ジャックナイフストレッチ(朝の会)
- ③『気を付け』:立位姿勢
『足はべったん 背中ピン』:座位姿勢(1日1回意識化)

重点1 学びづくり

児童が主体的協働的に学べるよう『学び合い』を中心に、教材の本質に迫る課題を提示し、児童の追究を支える指導の充実を図ります。また教師の力量向上を図る研修をします。

《今年度の重点方策》

- 『学び合い』の考え方による授業づくりを日常的に取り入れ、その様子を学年だより等で伝えます。
- 授業力アップを目指して、3回(7, 9, 10月)の授業公開を実施し、研究会を行います。

重点3 心づくり

全学級で『宝物ファイル』を作成し、自己肯定感を高めていきます。『ふるさと学習』を見直すと同時に、ふるさとポートフォリオの実践を積み重ねていきます。

《今年度の重点方策》

- 自分の心の歩みを綴り(宝物ファイル)、『自分のことを好きになる心』を育てます。
- 小布施についての学習を推進し、『ふるさとを大切にしようとする心』を育てます。

— 全校の合言葉 —

まなびあい ひびきあい みがきあい

— 共通の学び方 —

わからないと言える 一緒にやろうと言える
友だちの声に耳を傾ける 納得するまで追究できる

重点4 土台づくり

「あいさつ」は響きあう人間関係づくりの土台、「清掃」は望ましい勤労観を育てるキャリア発達の土台、「うたごえ」は人間的感性を育む土台ととらえ、児童教職員が一体となって取り組みます。

《今年度の重点方策》

- 「相手にされて返すのは返事、自分からやるのがあいさつ」を徹底して伝えます。
- 『心構えタイム』を継続し、「無言清掃」「見通しを持った清掃」に取り組みます。
- 朝や帰りの会では、発達段階や個性に応じて選曲した歌を歌います。集会退場時には、教室まで歌って戻ります。

《教師の協働によって》

- 重点ごとに中心講師を招聘し、職員の研修を深めながら進めていきます。<・学びづくり 三崎隆氏 ・心づくり 岩堀美雪氏 ・体づくり 関賢一氏 ・土台づくり 前田美子氏>

- 幼保小の連携交流活動、小中の連携交流活動、異年齢交流活動、幼保小中合同活動(小布施っ子まつり)を見返し、一層の充実を図ります。

- 特別支援教育コーディネーターを中心に、個別支援計画を立て一人一人のニーズに対応します。

- 月に一回「非遵行為防止研修」に取り組み、綱紀の保持粛清に努めます。

《家庭・地域との連携によって》

- 「家庭学習のしおり」によって、家庭とともに望ましい学習習慣と学力の定着に努めます。

- 「小布施学園コミュニティスクール運営委員会」と協働して学校づくりが進むようにします。

- 「学校ボランティア」(学習支援・安全確保・キャリア教育・ふるさと学習講師等)を積極的に活用します。

一学期：運動会<全校>

小布施に育つ喜びを「全校 弾季舞」で表現します

二学期：音楽会<全校>

感性の育ち・心の絆を音楽で表現します

三学期：学習発表会<各学級>

一年間の学びの成果を全学級で公開します



学校だより・ホームページ等により学校の取り組みを随時お知らせします。
学校自己評価(11月)によって、今年度の成果と課題を公表します。



学校は、参観日に限らずいつでも参観できます。校内はどこでも参観できますが一部個人情報保護のため参観をご遠慮いただく場所もあります。